



長生きの秘訣を聞かれて「やっぱり稼ぐごと」と笑顔で答える畠中オエイさん

村の最高齢者

畠中オエイさん、笑顔で106歳

5月13日、村の最高齢者畠中オエイさんが、特別養護老人ホームうねとり荘（斎藤正明施設長、入所者60人）で、元気に笑顔で106歳の誕生日を迎えました。

畠中さんは1899（明治32）年生まれで太田名部の出身。同日の誕生日に合わせた祝う会には親族8人のほか深渡宏村長、同荘の野崎幸太郎理事長も駆け付け、さらなる長寿を願いました。

深渡村長は「106歳の人生にはいろんなことがあった

ことでしよう。本人が長生きしたいと思う気持ちを支えに、なってきたと思います」と祝福。記念の「長寿の証」を手渡しました。

畠中さんは集まった多くの人を前に「皆さんありがとうございました。皆さんも長生きしてください」と話し、祝福の拍手を浴びていました。会場からは「長生きの秘訣は」と質問が。畠中さんは「やさり（一生懸命）稼ぐごと」と笑顔で答えていました。

畠中さんは、1996年に

皆さん、こんにちは。今月は今年も間もなくやってくる「ハチ刺し事故」についてお話しします。

一昨年は、普代の方で実際にハチに刺されて命を落とされたという例がありました。ハチ刺し事故は、8月をピークにハチの活動期の6〜9月ごろに発生して



皆さんハチにご注意!!

と、局所症状の憎悪により、時にアナフィラキシーによる死亡例もあります。

一般に過去においてハチに刺された時に、その部分から広汎に腫脹が広がり、数日間続くような局所反応になった場合は再度のハチ刺し事故によって、アナフィラキシーが起きる可能性があります。

えるので、一刻も早く現場を離れるなど、対策を講じてください。

なお、ハチ刺し事故が起きてしまった場合、早く医療機関で手当を受けることが必要ですが、今回アナフィラキシーが起きる可能性の高い方は、エピペンという製品で、シヨ

が高いと考えられます。

ハチ刺し事故の起きうるシーンには、やむを得ずハチのいるような場所に行くときは、肌を露出せず、つばの広い帽子をかぶったり、身に付けるものは黒色のものは避け、明るい色にする。

また、一旦ハチの攻撃を受けると、攻撃に参加するハチは増

本人のみ自己注射可能なり、処方後登録され、携行して、医療機関に到着できるように使用できますので、詳しくは村国保診療所（35-2517）にお問い合わせください。久慈病院でも処方されており

また、一旦ハチの攻撃を受けると、攻撃に参加するハチは増

同荘に入所しました。職員の中山学さんは「入所時に比べれば、耳が遠くなりしましたが、話しははつきりしていて、好き嫌いもないですね」と話していました。

村の100歳以上は畠中さんを筆頭に、101歳の沢田タマさん（沢向）の2人です。

「児童手当現況届」の提出は6月中です。お忘れなく!!

現在児童手当を受けている方は、6月中に「児童手当現況届」を提出しなければなりません。この届け出は毎年6月1日の状況記載し、児童手当を受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。

あらかじめ児童手当現況届などは対象者の皆さんにお送りしていますので、忘れずに役場保健福祉課まで提出してください。

●問い合わせ先…役場保健福祉課（☎0194-35-2114）まで。